

## 棚底抗争 関連年表

元号	西暦	月日	出来事
延文3年	1358年	—	棚底城の菩提寺と推定されている大権寺遺跡に「明俊禪尼」塔ができる。
康安元年	1361年	—	大権寺遺跡に「道宗禪門」塔ができる。
永徳3年	1383年	—	大権寺遺跡に「蓮恵禪門」・「浄薫善根」塔ができる。この頃に棚底城築城か。
永享12年	1440年	—	大権寺遺跡に「光妃禪定尼」塔ができる。
永正2年	1505年	6月27日	天草氏が本砥を志岐氏に、島子を上津浦氏に渡す。
享禄5年	1532年	6月13日	天草氏・志岐氏・栖本氏・大矢野氏・長嶋氏が協力して、上津浦を攻める。
		6月16日	相良氏が上津浦治種に援軍を送り、一番衆が出立する。
		6月26日	相良氏の援軍、二番衆が出立する。
		7月1日	両軍は上津浦で戦い、相良六郎左衛門尉が討死する。
天文13年	1544年	2月2日	上津浦氏一族が棚底城から下城する。
		2月4日	上津浦氏一族が上津浦城から下城する。(上津浦城は上津浦氏の本城)
		2月6日	上津浦種教が上津浦城から下城する。
天文20年	1551年	7月8日	天草氏・上津浦氏・大矢野氏が栖本城を攻める。島原半島の有馬氏から上津浦氏への援軍が海を渡ってくる。大野氏・安德氏・南条氏ら島原の国人が栖本攻撃の間、上津浦城の留守番を務める。
天文24年	1555年	8月12日	相良晴広が亡くなり、相良義陽が家督を継ぐ。天草氏・栖本氏・大矢野氏・上津浦氏らが僧30人を相良氏の元へ派遣する。
弘治2年	1556年	6月1日	上津浦から棚底に攻め、棚底のうち「藤河拵(現在の家久栄か)」を破る。
		6月29日	栖本氏が上津浦との領土境へ攻め寄せたところ、上津浦氏が応戦し、「草積」で合戦になる。栖本軍18人が討ち取られる。
		6月～翌年5月頃	相良氏は栖本氏を応援する。津奈木衆や湯浦衆らを盛んに栖本城番として派遣している。
		7月4日	上津浦氏が栖本氏を攻める。栖本の「浦々」を破る。
		8月25日	上津浦氏が栖本氏を攻める。栖本馬場を破る。
		9月14日	上津浦氏が栖本氏を攻める。「鷹戸大たう(現在の高戸・大道か)」を破る。6人を討ち取り、20人を生け捕りにする。
		11月7日	上津浦氏が棚底を攻め、「さかたぬき」を破る。5人を討ち取り、53人と牛馬30頭を生け捕りにする。
弘治3年	1557年	7月9日	上津浦氏が栖本の「トマリ(港)」を破る。
		11月18日	上津浦の「麻島師子口」に天草氏・栖本氏が伏兵するが、上津浦氏に敗れる。
永禄元年	1558年	3月16日	上津浦氏が棚底城を攻める。島子から下津浦城を攻める。
		4月2日	天草氏が上津浦城を攻める。天草軍の18人が討ち取られる。
永禄2年	1559年	7月12日	上津浦氏が栖本城を攻める。
永禄3年	1560年	2月26日	上津浦氏が棚底城を攻める。栖本軍の3人が討ち取られる。
		9月23日	栖本攻めのため、有馬勢が上津浦に200艘あまり集まる。
		9月27日	有馬義貞・大村純忠・志岐氏・上津浦氏が栖本に着陣する。
		11月19日	相良氏の仲介で、棚底城を栖本氏から上津浦氏へ渡すことが決まる。
		11月20日	有馬氏は自領へ帰る。
永禄7年	1564年	11月25日	上津浦氏が使僧延命院を八代奉行へ派遣し、相良氏の仲介で棚底城を受け取ったとお礼をする。
		5月18日	上津浦から朝音寺が使僧になり、天草氏から小島子が返還される旨を相良氏に伝える。
		6月27日	天草氏から上津浦氏に小島子と下砥岐(御所浦)が返還される。
永禄8年	1565年	6月28日	志岐氏・栖本氏・有馬氏・出水島津氏の連合軍が島子城を攻める。
		7月2日	志岐氏・栖本氏・有馬氏・出水島津氏の連合軍が本渡城を攻める。
		7月9日	天草氏・大矢野氏・上津浦氏の連合軍が志柿城を攻める。栖本軍と上津浦軍が合戦になり、上津浦軍の6人が討ち取られる。
		8月26日	相良氏の栖本攻めに際し、球磨から深水某・東民部左衛門尉が出船。砥岐のアラロ(現在の嵐口か)に着船する。
		9月13日	上津浦氏が栖本の河内を攻める。8人討ち取り、手火矢(鉄砲)2丁、兵具50ほど奪う。
永禄9年	1566年	4月6日	上津浦氏が栖本を攻める。麦作りを追い払う。栖本氏が棚底に攻め込み、麦をオウコ130本追い落とす。

※黄色部分は棚底城跡に関する記事。